

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	鈴木ヘルスケアサービス (株)	代表者	鈴木 則成	法人・事業所の特徴	ご利用者の地縁を守り、慣れ親しんだ地域・居場所で生活を続けられるようお手伝いします。ご本人の思いや願いに寄り添い、24時間365日「その人らしい暮らし」を支え、「通い」「訪問」「お泊まり」の3つの基本サービスを組み合わせご利用いただけます。また、どのサービスにおいても、顔馴染みのスタッフがサービスをご提供するため、知らないスタッフが急に自宅に来たなどという不安もなく、安心してご利用いただけます。
事業所名	小規模多機能ホーム 鈴の郷	管理者	金森 邦浩		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	7人	1人	1人	0人	9人	0人	20人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> この改善計画が適切かどうかを見ることが大切。 利用者さんの情報を全員で共有することが絶対に必要で、目標点もここから見計らい設定してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングやケース会議を適時開催し、情報の共有をおこなう。 在宅生活の支援の中で、利用者のご自宅での地域との関わりは必要不可欠である点からも、地域の行事へ参加を行ない地域との交流を行なう。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> 例えば、鈴の音で行っている認知症カフェをこちらで見学会を兼ねてしてもいいのではないか。 立地からも国道に面していることからやむを得ない点もあるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> PRの強化 会社の新聞の配布など 看板の設置検討
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> 鳥居本に限定されるのであれば、宿場祭りなどに参加・協力してもらっているのでもいいのではないか 地域包括支援センターがあるためその点は集約していただいて、イベント等で鈴の郷をPRしていくのでよろしいのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 看板等の検討 まずは鳥居本の地域に焦点をあて、宿場祭り等に参加していく。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・鈴の音・鈴の郷・地域包括支援センターすばるが連携されていることはよいが今後はもっと積極的にしたほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続で宿場祭りへの参加 ・継続して各利用者の地域での行事への参加（お寺等） ・軒下マップの作成及び地域の把握
E. 運営推進会議を 活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・はじめからそうはなかなかならないので、ぼちぼちしていったらどうか。いずれはそうなるのも良いが、まずは足元を固めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続し、日々の活動報告を通して取り組み等、具体的にしていく。 ・運営推進会議の時間の一部を相談の時間にあて、地域の情報を獲得する場とする。
F. 事業所の 防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・分担表・マニュアルの等の掲示が必要。 ・3事業所がしっかりと連絡体制を確立する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回の防災訓練を利用者参加の元行なう。 ・地域への防災訓練への参加